

## Kofax Analytics for Capture

Kofax Analytics for Capture™は、ドキュメント中心のビジネスプロセスに対して、重要な制御が必要な組織のためにデザインされた、Kofax Capture™向けの統合された分析プラットフォームです。ビジネスユーザーはITのサポートなしで、100以上のあらかじめ構築されたレポートやビューをカスタマイズできます。ほぼリアルタイムのレポートと粒状のシステムデータにより、あいまいなビジネスプロセスに重要な洞察が得られ、企業のシステムエンゲージメントの有効性、従業員の生産性、および重要な記録システムに入力する情報の質について、中心となる、信頼できる表示を作成します。

Kofax Analytics for Captureを使用すると、以下が可能になります。

- ◆ ほぼ100の事前に定義された指標と、100以上の記録を通して、すべての重大なマルチチャネルの高度なキャプチャプロセスについて、細やかな洞察が得られます。
- ◆ 1回クリックするだけで、バッチやドキュメントの数を、バッチクラスやドキュメントの種類でフィルターをかけ、障害を特定します。
- ◆ 強力な分析を通して、人間のオペレーター、ビジネスプロセス、ソフトウェアパフォーマンスを客観的に監視します。
- ◆ 機密情報が漏洩しないように、ユーザーの役割とコンテキストデータの権利に基づき、セキュリティ設定を適用します。
- ◆ 複数のKofax Captureのインストールから、データに簡単にアクセスし、素早く統合します。
- ◆ ウェブベースのダッシュボードとやり取りし、新しいレポートを構築したり、データベースのクエリを調節したりします。
- ◆ Kofax Process Intelligence™に含まれるKofax Insight™を活用して、初期投資を追加のデータソース、部門、ビジネスラインに拡張します



Kofax Capture向けの統合された分析プラットフォーム

### オペレーションに対して、重要な制御を実現する

- ◆ ドキュメントデータを抽出する際に、ドキュメント別、フィールド別、ユーザー別の精度と生産性の割合を明らかにします。
- ◆ レポートを掘り下げると、予想を下回る精度を生じた原因と結果について、信頼できる表示が提供され、迷わないで訂正できます。
- ◆ オペレーションを通して情報がどのように流れるか、受領からエクスポートまで情報を処理するために、関連コストがどのくらいかかるかがわかります。
- ◆ システムの改善により、どのように全体的なシステムパフォーマンスを向上できる可能性があるかを正確に予測し、推定します。
- ◆ 役割ベースの権利を特定のデータ指標に適用し、重要な意思決定者が適切なレポートに安全に、コンプライアンスルール内でアクセスできるようにします。
- ◆ 顧客エンゲージメントの成果とドキュメント処理活動の間の相関関係を特定します。

DKofax Analytics for Captureについて詳しくは、[kofax.jp](http://kofax.jp)をご覧ください。